



新☆びゃくか (白花) たより

手打ちそばぐる〜ぶ

白花

第26号 : 28. 12. 25

今年の「喜茂別町双葉地区大収穫祭」は、13名のスタッフが参加し、11月19日(土)、例年どおり双葉地区克雪センターで行いました。



札幌出発は6時半。

何年か前、猛吹雪の中死ぬような思いをして峠を越えたことが嘘のように晴れている中、現地を目指します。

2時間後現地到着。

早速会場設営です。

会場の鍵は、朝早くから商店 T さんの奥様が開けておいてくださり、ストーブも点けておいてくれます。

玄関先には「双葉大収穫祭」の横幕と「白花」ののぼりを立てます。会場内も飾り付けします。

当日の役割分担、総監督は代表山ちゃん、そば打ち指導には、むっちゃん、G10 さん、たがさん、tanbo さん、太郎さん、と総監督を含む6人にあたります。そのうちG10さん、たがさん、tanboさんの3名は、昼食用1.5kg×2回打ちを行います。(そういえばむっちゃんも打ってましたね。)



受付はおが G さん、花番はたむきょんさんと Mu-さん、厨房には

カミさん、網さん、gouda さん、オガさん、その他現地女性陣に入って頂きます。

9時を過ぎると早くも京極町の方々がお見えになりました。

ルスツに研修所があるヒ/キ化粧品の方々も来られました。



した。そろそろ帰札準備を始めようかなとした2時半過ぎに、体験打ちを希望する方が見えました。太郎さんに指導をお願いして、3時過ぎには宿泊組と帰札組に分かれて無事終了しました。宿泊組は、奥洞爺にある「湯人家(ゆのとや)」で反省会を行います。

す。残念ながら温泉の画はありませんが、双葉からは M 家ご一行様、T 翁、R 先生、養豚場経営の S 嬢に参加して頂きました。

アミさんは「いやー、この温泉はあまり知られてないけどいいところだわー。」としきりに感心していました。

振り返ってみると、双葉地区で大収穫祭を初めて実施したのは、今から8年前。実った蕎麦を手持りしたことがついこの間のこのように思い出されます。T 翁にご教示頂きながらの唐箕作業も結構楽しかったなあ。いままでも、そしてこれからも地域の方々に喜んで頂けるよう、続けていきたいと思ひます。

